



### 2023年度学友会 スローガン 「画竜点睛」

今年の学友会のスローガンは「画竜点睛」です。「画竜点睛」は、日本のことわざであり、中国の故事に由来しています。このことわざは、何かを作り上げる際に最後の仕上げや要点を押さえることの重要性を表しています。絵画や文章、計画など、あらゆる創作やプロジェクトにおいて、最後のひと手間やアクセントが全体の完成度を高めるとされています。また、何か不完全な状態であっても、最後に適切な仕上げを施すことで優れたものになる可能性があることを示しています。

これは私たち学友会本部が行事や毎週火曜日に行うアッセンブリーの内容を企画し、その行事に思い出を吹き込むのは関西学院高等部の生徒の皆さん自身であってほしいという思いから、このスローガンを考えていただきました。現在在学友会本部は三年生五名、二年生二名の計七名で運営しています。このメンバーで毎週のアッセンブリーの運営、その他行事の企画を考案、議論して仕事をしています。一人一人が責任をもって仕事をしています。今年度は神戸グリーンアリーナで学友会行事を行う予定です。その大型企画に向け、私たちは日々その大型企画の準備に追われています。その大型企画を計画する上で、何度も議論や会議を重ねています。しかし、時に学友会本部の七名ではその企画を良いものにするアイデアや解決策が思い浮かばないときがあります。そんな時は全校生徒に呼びかけ、アイデアや解決策を募集し、全校生徒でより良いものにしていくようにしています。

### 学友会総会議案

学友会総会における議案は、主に各クラスコミッティーで構成されるクラス委員会が先導して決定します。今年も例年通り、各クラスのコミッティーにHRで総会議案の候補を集めてきてもらい、最終決定をクラス委員長、副委員長が行いました。

最終的に、第一号議案は「合服期間の年中化」、第二号議案は「文化祭前日に生徒限定の文化祭を行う」、第三号議案は「食券購入の時短」、第四号議案は「購買の値下げ」、第五号議案は「昼休みの外食許可」となりました。発案内容は生徒の意見をもとにクラス委員会でまとめました。第一号議案は、夏服期間と

冬服期間が定められていると体温調節が難しいという意見のもと発案されました。発案内容は、夏服期間と冬服期間を廃止し、一年中合服期間にするというものです。原則は一年中どちらの服を着ても良いことを目指しますが、始業式や終業式などの式典では服装を統一するべきか検討し、必要に応じて季節ごとに夏服もしくは冬服の着用を義務づける日を設けることも視野に入れています。

第二号議案は、文化祭の一般公開日に高等部生と一般客の方々が訪れると、混み合っており、お互いに待ち時間が長くなってしまおうという意見のもと発案されました。発案内容は、文化祭前日の午後一部の時間、高等部生限定で文化祭を行うというもので

「何個買うと何円引き」といす。これによって、混雑を防ぎ、一般公開日に一般客の方々に出来るだけスムーズに文化祭を楽しんでいただくことを目的としています。

第三号議案は、食堂を利用する高等部生が多く、食券の購入の待ち時間が長いという意見のもと発案されました。発案内容は、レジ数の増加もしくは券売機の設置です。また、毎日食券を買う必要をなくすため、食券の買い溜めを可能にすることで混雑を解消するという案も出されています。

第四号議案は、食堂の購買で売られている商品の値下げをしてほしいという意見をもとに発案されました。ただ単に値下げをしてほしいという意見は経済的に難しいと考え、

「何個買うと何円引き」といす。これによって、混雑を防ぎ、一般公開日に一般客の方々に出来るだけスムーズに文化祭を楽しんでいただくことを目的としています。

第五号議案は、学校がある日にも弁当と食堂以外のご飯が食べたいという意見のもと発案されました。高等部周辺の飲食店であれば、昼休みの時間でも十分に間に合うと考え、発案することを決定しました。

以上が今年度第一回学友会総会の議案内容です。たくさん意見を出していただきありがとうございます。また、総会で質疑応答、修正案の意見をもとに議案をより良いものとしていきます。引き続き議案成立実現のため、ご協力よろしくお願い致します。(クラス委員長 佐渡 大感)



学友会会長 日野 晴斗

さん自身であってほしいという思いから、このスローガンを考えていただきました。現在在学友会本部は三年生五名、二年生二名の計七名で運営しています。このメンバーで毎週のアッセンブリーの運営、その他行事の企画を考案、議論して仕事をしています。一人一人が責任をもって仕事をしています。今年度は神戸グリーンアリーナで学友会行事を行う予定です。その大型企画に向け、私たちは日々その大型企画の準備に追われています。その大型企画を計画する上で、何度も議論や会議を重ねています。しかし、時に学友会本部の七名ではその企画を良いものにするアイデアや解決策が思い浮かばないときがあります。そんな時は全校生徒に呼びかけ、アイデアや解決策を募集し、全校生徒でより良いものにしていくようにしています。

今年度は学友会執行委員はありませぬ。その代わりに、アッセンブリー委員会と広報委員会が復活しました。昨年度の制度は、学友会に入りたいた人は全員入れるというものでした。様々な活動ができたのと同時に、人数が多すぎることから情報共有が困難であったり、仕事量に大幅な差が生まれてしまうなどという反省点があったのも事実です。

今年度は、昨年度の良かった点と反省点を生かし、二つの委員会を復活させるという決断に至りました。全校生に募集をかけ、書いていただいた応募用紙を本部役員全員で隅々まで確認をし、メンバーを選出しました。委員会復活の一年目の代わり、ご協力をお願いします。

アッセンブリー委員会は昨年度募集され、現在三年生四名、二年生二名の計六名で活動しています。主な活動内容は、アッセンブリーで行なうイベントの企画、実施です。今年度は二学期に二回、イベントを実施したいと考えています。イベントの回数は少ないですが、その分濃いものを作りたいと思います。

生徒の皆さんに、「楽しい」と感じてもらえる企画にするために打ち合わせを重ね、より面白く、より魅力的な企画を作り上げるために頑張っています。高校生同士だからこそ、生徒の皆さんの興味や好みに合わせた企画を提案できると思っています。

一週間に一度しかないアッセンブリーを盛り上げるために委員一同、全力を尽くしたいと思っています。全校生徒共々、完成間近であり、ワクワクする時間を過ごし、楽しい思い出を作りましょう！(アッセンブリー委員長 出口 万真)

### 学友会執行委員会について

今年度は学友会執行委員はありませぬ。その代わりに、アッセンブリー委員会と広報委員会が復活しました。昨年度の制度は、学友会に入りたいた人は全員入れるというものでした。様々な活動ができたのと同時に、人数が多すぎることから情報共有が困難であったり、仕事量に大幅な差が生まれてしまうなどという反省点があったのも事実です。

今年度は、昨年度の良かった点と反省点を生かし、二つの委員会を復活させるという決断に至りました。全校生に募集をかけ、書いていただいた応募用紙を本部役員全員で隅々まで確認をし、メンバーを選出しました。委員会復活の一年目の代わり、ご協力をお願いします。

### 教育実習を終えて

教育実習生として高等部の新たな良さを発見することができました。まず高等部は「自由と自治」を軸に生徒主導で動くため、大学・社会人になる前に自発的な行動が身につけられる場となっていると思えました。さらに教員が自分の色を出して、知識・技能を教えられる環境も、ここならでばだと感じました。

また高等部は変化が速く、特にiPadの特性をいかにかうまく使って授業をするのについで、先生方の授業を見学させていただき実習生同士で試行錯誤しました。板書時間を削ることができ、説明や問題をペーパーワークにかけられる時間を増やし深みのある授業展開を心がけました。高等部生の皆さん、我々の授業はいかがでしたか？

### ボランティア委員会

ボランティア委員会では①コンタクトレンズの空ケース回収②子ども食堂への訪問③幼稚園への訪問④チャリティパーザールへの出店を行っています。子ども食堂に訪問し、ご飯ができるまでの間、子どもたちとおしゃべりやカードゲームをして遊びます。③では「くまのみ幼稚園」に訪問し、延長保育のお手伝いをします。毎月英語や工作、タップダンスなど委員会のメンバーの特技を生かしたワークショップを開催しています。④では高田君が出品し、売上をアジア協会アジア友の会に寄付することと、アジアの人々に安全な水を届けるお手伝いをしています。四月末のパーザールは雨天中止になってしまいましたが、今後西宮や尼崎のパーザールに出店する予定です。最後になりましたが、献品のご協力ありがとうございました。皆様のご厚意に感謝申し上げます。(ボランティア委員長 田中 さち)

### ICT委員会

我々ICT委員会は六十名程で生徒と先生の架け橋のようになっています。活動を行う際は、高等部生、また先生・保護者へ向けてSNS講演会を行っています。学外では、定期的に全国各地で行われているスマホサミット参加者の中から選ばれた者たちが一堂に参加した、全国スマホサミットに参加しました。北海道から熊本までの小中高生と「より良いSNS利用の方法」などを熱く語り合いました。また東京・大阪で開催されたNew Education EXPOの「子どもたちと考える、賢いネット」SNS(デジタル・シティズンシップ)教育に向けて」というプログラムに、現役高校生とセミナー講師として登壇しました。東京会場では、ZOOMからオンライン参加で、江戸川取手学園高等学校と文京学院大学女子高等学校と、大阪会場では、神戸市立太田中学校、熊本市立帯山中学校の生徒と、現代の高校生を抱えるネット問題や、これからの情報モラルについてディスカッションを行いました。今後も学内、学外の両面で積極的に活動し、より身近になっていくネットについて、私たちが一緒に学んでいきたいと思っております。(文責 佐藤 羽那)

さらに授業以外の仕事に出来る機会もあり、私は一年生の校外HRに参加しました。先生方は団結力を高める宿泊行事を生徒たち楽しんでほしい一心で夜遅くまで対応されていました。この三週間、実習生は教科指導の準備だけでなく夜遅くまで時間が必要でした。それに加えて部活動や学校行事など様々な業務をこなされている先生方の姿を見て、教員の仕事の偉大さやタフさを感じました。

教育実習を通して、たくさん学ぶことができました。最後に、我々実習生を受け入れてくださり、親身にご指導くださった先生方、授業の感想など話しかけてくれた高等部の皆さん、三週間共に過ごした実習生の仲間たち、心から感謝いたします。ありがとうございます。(実習生代表 福田 有花)

一学期の終わりまたは二学期の初めに皆にお披露目したいと考えています。このような活動を、私たちは計七人で力を合わせて継続させていきたいと思います。週一回月曜日、全体で会議をしています。私たちの会議ではブレインストーミングから始まり、そこで出てきた荒削りですが面白いアイデアをみんなで見つけていきます。これは、チームでしかできないことであり、とてもありがたいです。私たちは、これからも頑張っていくので、応援よろしくお願いします。(学友会広報委員長 酒井 涼雅)

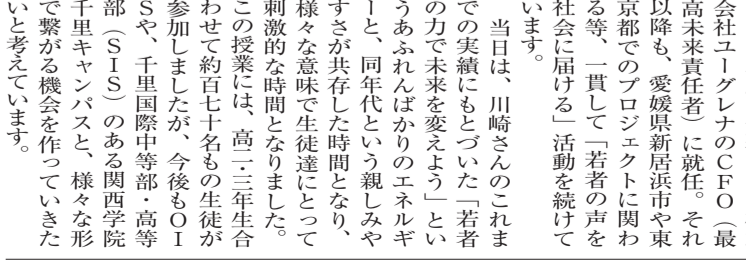
「国際子ども平和賞」受賞の川崎レナさんを迎えて

五月二十三日 関西学院大 阪インターナショナルスクール(OIS)の高校三年生で、昨年十一月に「国際子ども平和賞」を受賞した川崎レナさんを行いました。この賞は、子どもの権利擁護のため優れた活動をしている若者に贈られるもので、過去にはノーベル平和賞を受賞したバキスタン出身のマラー・ユスフザイさんや、スウェーデンの環境活動家、グレタ・トゥーンベリさんも受賞しています。川崎さんは十四歳で世界的な実績にもつづいた「若者」の力で未来を変えよう」というあふれんばかりのエネルギーと、同年代という親しみやすさが共存した時間となり、様々な意味で生徒達にとって刺激的な時間となりました。この授業には、高二三年生合わせて約七十名の生徒が参加しましたが、今後もOISや、千里国際中等部・高等部(SIS)のある関西学院千里キャンパスと、様々な形で繋がる機会を作っていくと考えています。

「堅苦しい」というイメージが根強かったからというので、我々エコ委員会は自転車発電機の製作や、それに関するイベント、有機野菜の栽培、太陽光による焼き芋づくりとその販売など、「楽しくエコ」をテーマに、皆さんに楽しみながら環境意識を高め合っていたら、委員同士で対話を重ねながら積極的に活動して参ります。(エコ委員長 小山 元)

「国際子ども平和賞」受賞の川崎レナさんを迎えて

五月二十三日 関西学院大 阪インターナショナルスクール(OIS)の高校三年生で、昨年十一月に「国際子ども平和賞」を受賞した川崎レナさんを行いました。この賞は、子どもの権利擁護のため優れた活動をしている若者に贈られるもので、過去にはノーベル平和賞を受賞したバキスタン出身のマラー・ユスフザイさんや、スウェーデンの環境活動家、グレタ・トゥーンベリさんも受賞しています。川崎さんは十四歳で世界的な実績にもつづいた「若者」の力で未来を変えよう」というあふれんばかりのエネルギーと、同年代という親しみやすさが共存した時間となり、様々な意味で生徒達にとって刺激的な時間となりました。この授業には、高二三年生合わせて約七十名の生徒が参加しましたが、今後もOISや、千里国際中等部・高等部(SIS)のある関西学院千里キャンパスと、様々な形で繋がる機会を作っていくと考えています。



活動報告

運動部

剣道部

浦師範、松浦・矢野先生の指導のもと日々の稽古に全力で励んでいました。

六月二二・二三日県高校剣道大会において、男子団体準優勝、女子団体三位、男子個人近畿大会出場

本郷が全国大会出場 これから近畿・全国大会や七月の玉龍旗に向けて更に自分の技に磨きをかけ、良い結果が残せるよう頑張っています。

(主務 橋本 隆太)



テニス部

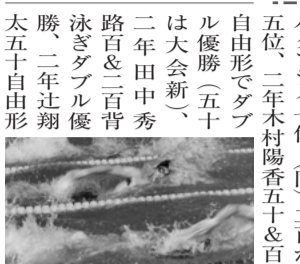
六十一名で活動しています。県総体では男子団体準優勝、男子ダブルス(古西・小夏)が三位の成績を収めました。この結果により、近畿選抜テニス大会出場が決まり、男子団体II部優勝、男子新人の部で小夏が優勝しました。

目標としていたインターハイにはあと一歩届きませんでした。部員全員で挑戦できたことに意味があったと思います。応援ありがとうございました。

(主務 石野 大晴)

水泳部

部員二十七名(女十一人、男子十六人)でスタートし、関関戦、近畿私学、市内、阪神大会、国体予選と数々の試合に臨み、県大会を終えて以下の結果となりました。



男子バスケットボール部

我々男子バスケットボール部は、県新人大会、県総体など、今年度の結果が、ともにベスト十六で大会を終えました。総体後から夏休みまでは、秋に向けてそれぞれ何が足りないかを考え、個人で

考えて動く期間を設けています。チームで掲げる「兵庫」を達成できるよう、充実した夏休みを過ごし、集大成となる秋の大会では見る人を感動させられるような試合をしたいと思っています。

(主務 藤澤 真幸)



男子バレーボール部

三年生十二人、二年生十人、一年生二十八人、マネージャー三人で顧問の福嶋・豊嶋先生、外部コーチ岩本さんのご指導のもと総体予選に向けて日々練習に取り組んでいました。総体予選では兵庫工業に健闘するも、惜しくも近畿大会出場権を逃しました。代替わりという形をとりつつも、三年七人がチームに残り、八月の春高予選、全国私立学大会予選に向けて日々練習を続けています。

(前部長 高木 直人)



女子バスケットボール部

一年生十八名を迎え、四十五名で夏に開催される三つの大会に向けて三年生を中心に、作品作りに取り組み毎日練習に励んでいます。今年度は新たな挑戦を試み、これまでの経験を超える作品になるよう試行錯誤を重ねています。

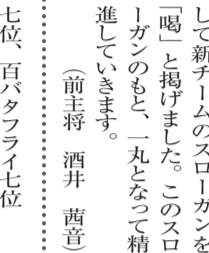
五月開催された阪神大会において男女団体、ダブルス四組、シングル二名が県大会へ出場しました。

進んでいます。(前主務 酒井 茜)

ダンス部

一年生十八名を迎え、四十五名で夏に開催される三つの大会に向けて三年生を中心に、作品作りに取り組み毎日練習に励んでいます。今年度は新たな挑戦を試み、これまでの経験を超える作品になるよう試行錯誤を重ねています。

進んでいます。(前主務 酒井 茜)



サービスクラブ

学友会所属サービスクラブは、今年度は「兵庫」を達成できるよう、充実した夏休みを過ごし、集大成となる秋の大会では見る人を感動させられるような試合をしたいと思っています。

今年度は「Reach the Top」をスローガンに掲げ、更なる高みを目指しながら勝利に導けるように全力で応援させていただきます。

(キャプテン 増田 采姫)

卓球部

五月開催された阪神大会において男女団体、ダブルス四組、シングル二名が県大会へ出場しました。

進んでいます。(前主務 酒井 茜)



文化部

第七十六代グリーククラブは、新入部員を三名迎え、計十五名で日々明るく合唱に取り組んでいます。入学式やイースター礼拝、校外ではオリックスタバフローズの試合前イベントや六甲ヴェルデ吹奏楽団の演奏会など、多くのステイジで歌わせていただくことができました。また、六月十一日に行われた兵庫県合唱祭ではフランス語の合唱曲二曲を演奏し、コロナ以来行われなかった他校との合同合唱にも参加しました。合唱コンクール関西大会出場を目指して日々精進します。

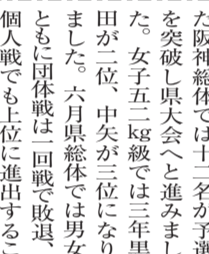
「水天二碧」をスローガンに、三年生十六名、二年生十八名、一年生二十四名の計五十八名で活動しています。四月二十二日に第二十二回定期演奏会を開催させていただきました。五月末のアッセンブリで定期演奏会のステージマナーを披露、みなさんに盛り上げていただき、思い出に残る本番となりました。七月末のコンクールに向けて現在練習を重ねています。支えてくださる方々への感謝を忘れず、私たちが音をお届けできるように頑張ります。応援をお願いします。

(部長 宮本 千寛)

吹奏楽部

「水天二碧」をスローガンに、三年生十六名、二年生十八名、一年生二十四名の計五十八名で活動しています。四月二十二日に第二十二回定期演奏会を開催させていただきました。五月末のアッセンブリで定期演奏会のステージマナーを披露、みなさんに盛り上げていただき、思い出に残る本番となりました。七月末のコンクールに向けて現在練習を重ねています。支えてくださる方々への感謝を忘れず、私たちが音をお届けできるように頑張ります。応援をお願いします。

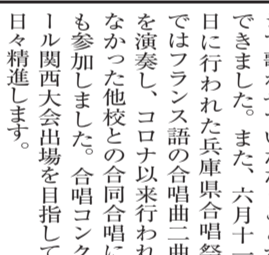
(部長 野口 称梧)



数理学部

「数学を愉快地学ぶ」二年生五人と少ないですが、自分の意見を取り入れられやすいアットホームな部活です。普段の数学の授業のような一方向的に教えていただく形式ではなく、部員みんなで教え合い協力しながら問題に取り組んでいます。ピタゴラスは「万物の根源は数である」と言えます。即ち「世界は数で語られる」ということかもしれません。数学を楽しく学ぶのが数理学部です。

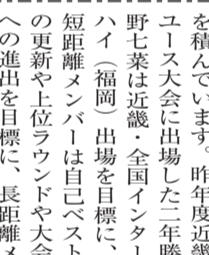
(部長 長谷川 純)



社会部

社会部クイズ班 三年生三名、一年生六名で活動しています。新入生が入ったことにより、和気あいあい、上下関係に縛られない雰囲気になってきました。「早押しクイズ」の研鑽を積み、この結果をまとめた論文を作成しています。更にシマドジョウ以外の魚などについても研究を始めていこうとも考えています。これらの研究も、外部で発表することを計画しています。今後とも理科部の活動にご期待ください。

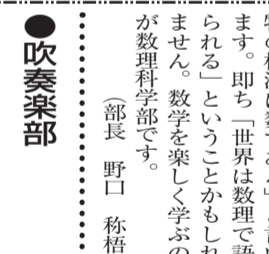
(部長 長谷川 純)



理学部

新入生二名を加え計六名で活動しています。昨年度同様、シマドジョウの分布について研究を続け、今年度はこれまでの結果をまとめた論文を作成しています。更にシマドジョウ以外の魚などについても研究を始めていこうとも考えています。これらの研究も、外部で発表することを計画しています。今後とも理科部の活動にご期待ください。

(部長 小島 祐樹)



社会部茶道班

伝統的な日本文化である茶道の魅力を探索しています。部員三十一名がお茶を点て、おもてなしの心を学んでいます。十一月には保護者を招いた茶会や文化祭を四年ぶりに一般のお客様を迎えた形で行いたいと考えています。

(部長 長谷川 純)



宗教部

今年度の研究テーマは「クリスマス文化の研究」です。クリスマス文化の伝統料理を作ったり、専門知識を持つ方を講師にお招きして勉強会を開いたりしています。今年度は文化祭で展示を行うため、様々な展示会に行き、展示物の魅力も学んでいます。文化祭ではドイツの伝統的なクリスマスのお菓子の家であるヘクセンハウスと「クモの巣」とびらというクリスマス物語の飛び出し絵本を制作します。また、冬には学びの集大成としてクリスマス文化に深く関わりのある場所での研修旅行を行う予定です。

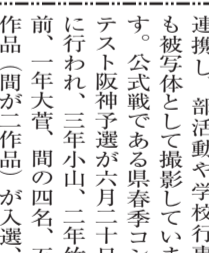
(研究班部長 宮園 優衣)



ESU部

ESU部は英語力を伸ばし楽しみながら学べることを目標に部員三十三人で活動しています。五月にスウェーデンのヘルシオン民族高等学校との交流の場を持ち、お互いの文化や生活について自由に話し合いました。現在は阪神ESUユニオンシナリオリーディングコンテストなど、様々なコンテストに向けて部員一同練習に励んでいます。

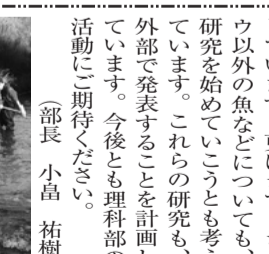
(部長 森 晏莉)



写真部

一年生九名を加え十八名で活動しています。学友会とも連携し、部活動や学校行事も被写体として撮影しています。公式戦である県春季コンテスト阪神予選が六月二十日に行われ、三年小山、二年竹前、一年大賞、間の四名、五作品(間が二作品)が入選しました。

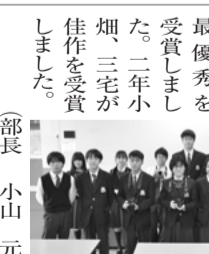
(部長 小山 元)



美術部

私たちは、個人作品の制作を中心に、日々活動しています。今年度は三年生がおらず、二年生も一人だけなので、新学

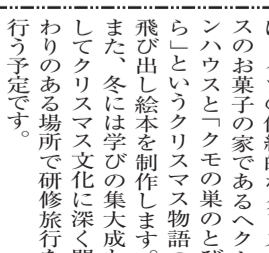
期当初は新入生が入部してきてくれるかどうか不安でしたが、嬉しいことに三人の一年生が加わってくれました。総員四人、他の部活と比べると少ないながらも、和やかな雰囲気での放課後活動を行っています。今年度も文化祭に向けて、大規模な展示物の作成を企画



ESU部

ESU部は英語力を伸ばし楽しみながら学べることを目標に部員三十三人で活動しています。五月にスウェーデンのヘルシオン民族高等学校との交流の場を持ち、お互いの文化や生活について自由に話し合いました。現在は阪神ESUユニオンシナリオリーディングコンテストなど、様々なコンテストに向けて部員一同練習に励んでいます。

(部長 森 晏莉)



学年校外行事

三年生

四月二十五日(火) 第一回遠足委員会が開かれ、その後各クラスで遠足についての話し合いが始まりました。まずは今回の遠足「慧星ドリムツアー」をどのようなテーマで行うか、そのテーマのため



にはどのような企画が良いか、場所は、予算は、ホームルームの時間を使って徐々に詳細を決めていきました。そして迎えた六月十四日(水)。A、B組は明石大蔵海岸。C、I組は大阪舞洲。D組は岡山前島。E組は大阪泉



南りんくう公園。F組は神戸しあわせの村。G組は大阪天王寺。H組はネスタリゾート神戸へ。大型バスをチャーターするクラスもあれば、朝からグループごとに食材を買出しに行くクラスもあり。どのクラスも黙食を気にせずパーベキューを楽しんだ後、遠足委員が中心となって企画したクラスレクリエーションで

探究型授業について 文部科学省指定事業であるWWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業の事業拠点校として、高等部は二〇一九年度から三年間に渡って探究型カリキュラムの開発に取り組みしました。現在は、「SDGsの達成を目指す」Mastery for Scienceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を身につけることを目標とし、

中・高校生 探究の集い

二〇二二を開催しました 関西学院高等部は、二〇二二年十二月十七日(土)に「中・高校生 探究の集い」を開催し、探究の集い



い中、地域探究や遠足という有意義で、楽しいプログラムを考えて下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(生徒代表A組 有光 慶記)

探究に特化した九つの科目の開講、学校・学年行事への活動の波及、学校内外の様々なイベントやコンテストの企画・運営・参加、他校の生徒さん達との関わりなどを通じて、多様な学びを展開しています。毎回の授業の様子や内容をHPにアップしているのは是非そちらからも日々の歩みをご覧下さい。

この日も探究型授業ならではのダイナミックな学びを継続していきます。

探究型カリキュラム 必修選択「ピースタディ」 二年生必修選択「ピースタディ」を受講した十一名が、三年でも同じメンバーで週二時間の授業を受けています。

大きな活動として、夏休み実施される二泊三日のフィールドワークがあります。昨年は長崎を訪問し、原爆と平和について学びました。

者の悲痛な苦しみが浮かんできて、原爆が落とされた過去を決して他人事として考えてはいけなさと自覚しました。

① 大学の試に縛られずに、それぞれの自己実現に向けた手だてが豊富に用意され、先生方もそのサポートを全力でされている点がとても素敵です。

② 小学生の頃から、勉強がかなり不得意でした。特に英語が一番苦手で日々の授業を苦痛に感じていました。

③ アルバカ。アルバカの性格は好奇心旺盛かつ、ビビリだそうなんです。私自身、好奇心が勝ると周りを見せず、後先考えずに行動することが多々あります。

一年生

コロナ禍の制限が緩和され、一年生は六月十三日・十四日、広島県福山市「ツネイシしまなみレジャ」で四年ぶりに一泊二日の宿泊行事を実施することができました。校外HRの目的の一つは「クラスの親睦・団結」を深めることとであったが、瀬戸内海でのカ



ツナ訓練では、オールの使用の方等の指導を受けて、チーム全員が一丸となってレースに臨みました。クラスによっては教育実習生や担任の先生方も参加し、レースも大いに盛り上がりを見せました。また夜の合唱コンクールでは、各クラス個性豊かでエネルギー溢れる合唱を披露し、枝川部長からは過去最高にレベルの高いコンクールだとお褒めの言葉をいただきました。大接戦の中、一位F組、二位G組、三位I組という結果となった。探究学習としての倉敷



探究型授業について 文部科学省指定事業であるWWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業の事業拠点校として、高等部は二〇一九年度から三年間に渡って探究型カリキュラムの開発に取り組みしました。現在は、「SDGsの達成を目指す」Mastery for Scienceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を身につけることを目標とし、

この日も探究型授業ならではのダイナミックな学びを継続していきます。

者の悲痛な苦しみが浮かんできて、原爆が落とされた過去を決して他人事として考えてはいけなさと自覚しました。

① 大学の試に縛られずに、それぞれの自己実現に向けた手だてが豊富に用意され、先生方もそのサポートを全力でされている点がとても素敵です。

② 小学生の頃から、勉強がかなり不得意でした。特に英語が一番苦手で日々の授業を苦痛に感じていました。

③ アルバカ。アルバカの性格は好奇心旺盛かつ、ビビリだそうなんです。私自身、好奇心が勝ると周りを見せず、後先考えずに行動することが多々あります。

④ 海外に一人で旅行に行くこと。学んだことはいつかきっとどこかで役に立つはずなんです。色々なることを学び、挑戦していつてもらえたらと思います。

は、未来へ進む自分を奮い立たせてくれます。高等部での良い思い出と、良き先生との出会い。 ③ 兎。走ることが好きなので。 ④ 日本全国のフルマラソンに参加

新任の先生方紹介

アンケートの内容

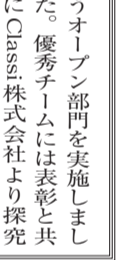
- ① 関西学院高等部の良いと思うところは？
② 教員になったきっかけは？
③ 自分を動物に例えたら何？
④ 今後いつか挑戦してみたいことは？
⑤ 高等部に一言お願いします！

羽田 真希(数学科)



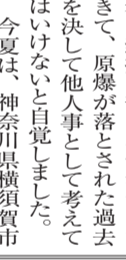
① 自由な校風。生徒も先生も皆がのびのびとしている所。
② なぜか自分は教員になるんだと小学生の頃に思い込み、その後ずっと他の職業に就いた自分が想像できませんでした。他の選択肢はなかったです。
③ ハシビロコウ。目付きの悪い

高谷 昌樹(英語科)



① 大学入試に縛られずに、それぞれの自己実現に向けた手だてが豊富に用意され、先生方もそのサポートを全力でされている点がとても素敵です。
② 小学生の頃から、勉強がかなり不得意でした。特に英語が一番苦手で日々の授業を苦痛に感じていました。

池 孝文(理科)



① 皆さん元気で各々の目標をもって学校生活を謳歌しているところ。
② 両親ともに教育関係の仕事

川村 志保(英語科)



① 挨拶をしてくれる生徒が多いのが、高等部の一番良いところだと思います。また、様々なことに打ち込める環境が整っていて、生徒が充実した高校生活を送れるのも、素晴らしいと思います。
② 学生の時、児童養護施設で勉強を教えるボランティアをしていました。その経験から、子どもたちが夢を叶えるために学びは必要で、その学びに携わる教員は、とてもステキな職業だと感じました。
③ ソウ

武内 俊樹(情報科)



① 高等部の礼拝がとても良いです。学生の頃に触れた礼拝でのメッセージや聖書の言葉は、人生の壁を乗り越える力を与えてくれます。仲間と一緒に歌った讃美歌

前田 秀樹(国語科)



① 自由と自治を守り、高等部につながる全ての人が高等部のコミュニティを大切にしているところ。
② 小中高大の段階でも学校が好きだったので教員になろうと思っていたが、特に

西田 薫(国語科)



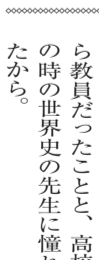
① バスを降りるとき、運転手の方に「有難うございます」と言うこと。当たり前か、今でも「人に支えられている」と自覚し続けてほしいです。
② 文学部を出て会社員をしていた頃、積み本だった谷崎

浮田 怜奈(歴史公民科)



① 大学が近いところ。スタバを買いに行けるなんて羨ましい。また、学校の建物もすごく素敵だと思います。中庭が一番好きです。
② もともと歴史が好きで、歴史を生かせる仕事を探したから教員だったこと、高校の時の世界史の先生に憧れたから。

潤一郎(痴人の愛)



③ アルバカ。アルバカの性格は好奇心旺盛かつ、ビビリだそうなんです。私自身、好奇心が勝ると周りを見せず、後先考えずに行動することが多々あります。